

平成25年度 第10回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成26年2月18日(火) 10時30分～11時32分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，福本文化教育学部長，平地経済学部長，藤本医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，遠藤教養教育運営機構長，事務局長

欠席者 稲岡附属図書館長，吉田総合分析実験センター長

陪席者 大島学長補佐

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 検討事項 】

(1) 国立大学法人佐賀大学大学評価の実施に関する規則の一部改正について
企画評価課長から，法人化当初に規定した事項の一部について，現行の自律的な自己点検・評価体制を活用したマネジメントサイクル等の実情に則した見直しを行うことに伴い，所要の改正を行うこと，また，改正の概要として，評価結果の活用，外部者による評価の実質化，文言の整理等である旨と今後のスケジュールの説明があり，意見を伺いたいとの発言があった。

構成員から，自己点検評価は毎年実施し，外部評価は2年毎となるが，評価のサイクルは一致していた方がよいのではないか，その理由等について質問があった。また，学長から，各種評価を実施するにあたり，どの時点で何を評価するのかを決めることが重要ではないか等の発言と，今後，議論をすすめていきたいので，2月末までに意見をいただきたい旨の依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 平成25年度監事監査結果報告書及び内部監査に対する改善等措置について

総務課長から、本件について、国立大学法人佐賀大学監事監査規則第10条第1項の規定に基づき、平成25年度監事監査結果報告書が学長に提出され、学長から必要な措置を講ずるよう指示があったことから、同規則第10条第3項の規定により改善等報告書の提出を依頼するものであること、並びに、国立大学法人佐賀大学内部監査規程第16条の規定に基づき、平成25年度内部監査に対する改善等意見書が監査室長から学長に提出され、学長から必要な措置を講ずるよう指示があったことから、同規程第17条の規定により改善等報告書の提出を依頼するものであることの説明があった。

また、担当理事室及び部局長等にはメールで通知済みであり、今後は「監査業務及び指摘事項に関する法人の検討サイクル」（役員会指針3 別紙）に基づき実施いただき、3月14日までに総務部総務課へ提出願いたい旨の依頼があった。

(2) 美術館設置事業の募金状況等について

総務課長から、2月17日現在の美術館設置事業の募金状況について、教職員、個人・学外、法人・団体など寄附者の内訳、金額及び募金率等の報告があった。また、今後の企画展の案内及び今後も各部局等において寄付金について協力いただきたい旨の依頼があった。

(3) 大学改革実行プランの対応について－ミッションの再定義（社会科学・理学・農学分野）の現状－

企画評価課長から、ミッションの再定義関連の現状について、前回説明した以降の対応状況について報告があった。

(4) 平成25年度第13回拡大役員懇談会における議論の概要について

学長から、本件について、1月15日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(5) 第3・4回中期目標・中期計画実施本部会議について

企画評価課長から、第3回及び第4回中期目標・中期計画実施本部会議の内容について、その概要の報告があった。

(6) 経費削減状況の報告について

財務課長から、本件について、平成25年3月に「佐賀大学における経費削減にかかる行動指針」を策定し、それに基づき、各部局にて、経費削減計画を立て目標削減率の達成に向けた取組みを実施していただいているところであるが、昨年度と今年度の12月までの実績額について、その増減をまとめた旨の説明があり、削減計画の実施にあたり参考にしていただ

きたいことと更なる経費削減について協力依頼があった。

(7) 学生の読書力向上のために

情報図書館課長から、本件は、「2011年版大学ランキング」における本学学生の図書館利用状況ランキングが低かったため、その状況を改善するためにプロジェクトを立ち上げ施策を行った旨の経緯、これまで平成22年、23年に報告したものの最終報告であること、また、その成果について、データを基に説明があり、2014年版では、ランキングの評価がCランクからBランクへ上がり、一定の成果がみられた旨の報告があった。

(8) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

特になし。

【 その他 】

○ 組織再編構想策定に向けた取組状況について

企画評価課長から、組織再編構想策定に向けた取組状況について、その内容、これまでの経緯及び今後の予定等について説明があった。

学長から、ミッションの再定義が公表され、教員養成分野において、新課程は全国的に第3期中期目標期間末までに廃止する旨を明記させられているところであるが、本学は全学的な視野の新学部構想として対応すること、また、入学定員の削減数や他大学の状況等について説明があった。

○ 定員超過率・未充足率について

企画評価課長から、定員超過率・未充足率の考え方を整理し、一覧表資料としたものについて説明があった。

学長から、本件の算出方法については、さまざまなルールがあり、複雑で分かり難くなっているため、各教員におかれては、本資料を利用いただきたいとの発言があった。

以 上